

# 市報 やまぐち

2015

1/1

January

No.222

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>  
e-mail [koho@city.yamaguchi.lg.jp](mailto:koho@city.yamaguchi.lg.jp)



第28回全国健康福祉祭やまぐち大会  
ねんりんピックおいでませ!山口2015  
平成27年10月17日(土)~20日(火)

教えてください! 元気と笑顔の秘訣

P.3

「明治維新の策源地 山口市」を全国に発信  
“維新キャラバン隊”



山口市議会議員 俵田祐晃

# 謹賀 新年



山口市長 渡辺純忠

市民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えの心からお喜び申し上げます。

また、平素から市勢の発展並びに議会運営に対するご理解、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

時代は、今大きな転換の時期を迎えております。我々は、時代の潮流を的確に見据え、今何をすべきか、今何ができるのかをしっかりと見極めていくことが求められています。市民の皆様の代表として、本市の意思を決定する機関である議会の責務は、ますます重要になってきていると強く感じているところでございます。

市議会では、平成25年度からインターネットを通じ本会議を中継していますが、昨年の9月定例会からは、タブレット端末やスマートフォン携帯でも視聴できるように取り組み、さらに市民の皆様には市政や議会への関心を深めていただいていると実感しております。

私も議員34名は、本市の輝かしい未来に向け、市民の皆様のご意見やお考えを聞かせていただき、「住んで良かった」と実感できるまちづくりを目指し、積極、果敢に取り組んでまいり所存でございます。

新しい年が皆様にとりまして、幸せで実り多く、大いに飛躍できる年となりますことを心よりお祈りしまして、新年のごあいさつといたします。

清々しい新春を迎え、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

本年は、新市発足10年を迎える節目の年となり、これまでの実績などをしっかりと踏まえながら、「活気創生 定住実現」をテーマに、次なる10年に向けて挑戦してまいります。

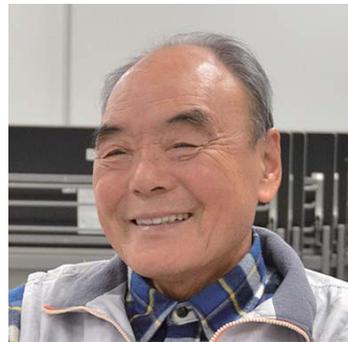
本市の活力を生み出す地域創生に向け、「未来活気『二つの創造』プロジェクト」として、「広域県央中核都市づくり」と「協働によるまちづくり」を進めてまいります。

都市の価値の創造と山口・小郡の両都市核づくりを中心に求心力を発揮し、県中部エリア全体の発展をリードする都市づくりを進め、同時に日常生活圏域の形成や住民自治の仕組みづくりに向け、21の地域における社会資本の整備や蓄積を進めてまいります。

さらに、「市民生活『四つの安心』プロジェクト」を進め、「雇用・産業振興」「子育て・教育」「防災」「健康長寿」の四つの分野で、市民の皆様暮らしにおける安心の実現に取り組んでまいりますので、今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

# 教えてください！ 元気と笑顔の秘訣

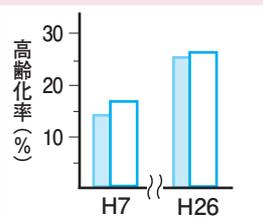


仕事が一段落し、第二の人生でこれまでの経験などを生かして自分が出来ることを見つけ、地域のため、次世代のため、そして、自分のために、今日も活動している人がいます。その姿はいきいきと元気で笑顔にあふれています。今回は、そんな人生の先輩方の元気で笑顔の秘訣に迫ります。

## 超高齢社会の到来

我が国では、平均寿命が延びてきたことや少子化などにより、高齢化率が上昇してきています。本市においても同様の傾向にあり、高齢者人口（65歳以上人口）は、平成7年には3万3930人でしたが、平成26年には5万1777人と、約1.5倍になっています。また高齢化率も、平成7年には17.6%でしたが、平成26年には26.6%となっており、市民4人に1人が高齢者という、超高齢社会を迎えている状況です。

日本と山口市の高齢化率



■ 日本 … H7は国勢調査。H26は人口推計（H26年9月15日現在）[資料：総務省統計局ウェブサイトより]  
■ 山口市 … H7は国勢調査。H26は住民基本台帳（平成26年10月1日現在）

## これまで培ってきたものを これからのために

高齢化率が高くなってきたということは、経験や知識が豊富な方が増えてきたということにもなります。そういった方々がこれまで培ってきた経験を地域社会の中で生かしていくことは、地域や次世代のためになるだけでなく、高齢

者自身も自分らしさを実感し、生きがいを持ちながら、健康で自立した生活を送れることにもつながります。

## 発揮する場はすぐ近くに

市内には、老人クラブをはじめ高齢者の方がいきいきと活動・活躍できる場が多くあります。その内容は、特技・趣味を極めるための自己啓発活動や地域貢献、子どもたちのための活動など、さまざまです。

また今年10月には、参加者の中心が高齢者の「全国健康福祉祭」（愛称「ねんりんピック」）が、山口県内全域で開催されます。この大会は、社会参加、生きがいの高揚、健康の保持・増進などを図るために行われるものです。スポーツや文化種目などの交流大会だけでなく、開催地域の文化を紹介する文化継承館や、地域の食などでもてなすブースもあり、さまざまな分野で高齢者の皆さんが活躍することができます。

自分らしさと生きがいを持って活動している高齢者は、いきいきとし、元気で笑顔であふれています。ねんりんピックの3つの目的でもある「社会参加」「生きがいの高揚」「健康の保持・増進」の視点から、皆さんがどんな思いで活動をしているのかお聞きしました。

## 人も自分も笑顔に

化粧で高齢者を、そして、伝統の風づくりで地域を元気にするために活動をしている「ビューティ・ケア山口」と「きらら阿知須よ一ずクラブ」にお聞きます。



施設での活動の様子



### ビューティ・ケア山口

市内外の高齢者施設で、化粧やハンドマッサージなどのボランティア活動をしている。3年前には、高齢者が気軽に集える場所をつくらうと、「かがやきサ

ロン」(朝田909)をオープンさせ、月4回メイク講習や作品づくりなどを楽しんでいる。

(左から伊藤良子会長、藤永弘子副会長)



笑顔が絶えないスタッフ勉強会



スタッフの皆さん。市外から通う人や男性、合計27人いる。

### 自分の持つ技術で社会貢献したい

かつて化粧品販売をしていた伊藤会長。「化粧品を買いに来るのは若い人ばかり。高齢者にも、もっと化粧を楽しんでほしい」という思いから、化粧を使って社会貢献しようという決意、平成5年に「ビューティ・ケア山口」を立ち上げた。始めた当初は、どこの高齢者施設に行っても営利目的だと勘違いされて断られるばかり。それでもめげずにいろいろな施設に足を運び続け、ようやくある施設が受け入れてくれ、活動が本格的にスタートした。「メイクのプロではないが、高齢者を化粧で美しくして笑顔にしたい、その思いだけははずっと変わらないし、誰にも負けない」と、強い眼差しで話す伊藤会長。

### 関わった時間も大切に

化粧などをする際は、その時間も心

## 「口紅を塗った後の笑顔が最高のご褒美」

に残るよう、体に触れながらいろいろな話をするように心がけている。ある施設に行つた際、その施設の男性職員が化粧を終えた方に「顔だけじゃなく、心もきれいにしてもらったね」と声をかけていたのを見て「やってきたことが認めてもらった」と実感でき、今でもその言葉が励みとなっている。伊藤会長は「私たちが化粧をさせてもらっているという気持ち。とにかく楽しい」と話し、「口紅を塗り終えた後の笑顔は何ものにも変えられないよね」と藤永副会長とともに目を細めた。

うれしい話はそれだけではない。かがやきサロンの参加者の中には、来所当初に比べて服装や雰囲気などが別人のように明るくなった人もい

る。今では参加者もスタッフも増え、部屋の広さが足りなくなるほどになった。

「高齢者にもっと元気に、笑顔になつてもらいたいという強い思いがある。私たちだけでは難しいので、同じ志のボランティア団体と一緒に、多くの高齢者が日常的に集える広い場をつくり上げたい」と、熱く語る伊藤会長の夢はさらに広がっていく。

### 変わらない信念で今後も一所懸命に

活動開始から21年。今でも変わらない信念が、多くの笑顔を生み出している。ねんりんピック山口大会では、来場者に化粧やハンドマッサージをするブースを出店予定だが、「いつもの場が変わるだけ」と気持ちはぶれない。ビューティ・ケア山口の活動により、山口はもとより、全国へも笑顔の連鎖が続いていく。



大型化した「どうじん風」。高さ約5メートル。地元の画家が原画を作り、女性陣が縫い付けるなど、地域総出で製作した。



「きらら浜風揚げ大会」での風製作の様子。例年、地域の団体（老人クラブや山ロライオンズクラブ）等が、子どもや親たちに風作りや風の揚げ方を教えている。



きらら阿知須よ一ざクラブの皆さん

### 夢は阿知須で全国大会を開催

「阿知須で<sup>た</sup>の全国大会を開きたいんだよ」と目を輝かせながら語るのは、「きらら阿知須よ一ざクラブ（山口市老人クラブ連合会阿知須支部）の藤井さん。どうじん風の歴史は古い。約120年前の日清戦争の頃、中国からの土産として伝わったとされる。円形が組み合わさった独特の形をしており、現在日本で残っているのは、小倉、長門、阿知須の3力所のみで、阿知須の風だけ竜が描かれている。

この竜には「海に千年、野山に千年のち天に昇る」という意味があり、風揚げ以外に正月飾りや祝い事の贈り物などにも代用される縁起物として使われた。しかし、時代とともに廃れていき、近年では手作りする人も減ったため、藤井さんは2008年、伝承のため、このクラブを立ち上げた。

### 「風で地域を豊かに そして、個人の心も豊かに」

### 巨大などうじん風を製作

もともと、どうじん風の高さは、約1.2メートルだったが、今年開催される、ねんりんピックへの出展に合わせて、約5メートルへと大型化を試みた。なぜ巨大化したのか？それにはこんな狙いがあった。

「将来、全国大会を開いた場合、必ず萩市の『鬼ようず』が来る。鬼ようずは、5メートルを超える風もあるため、阿知須の1.2メートルでは、伝統があっても見劣りする。だから負けたくないくらい大きくしようと思った」と藤井さん。特に今年は、ねんりんピックと世界スカウトジャンボリーがあり、日本だけでなく世界に阿知須の風文化を発信できる絶好の機会。どちらにも風を出展する予定で、夢に向かって着々と歩みだしている。

「阿知須の風文化を継承」

### 阿知須の風文化を継承

次世代への継承活動にも熱心だ。毎年クリスマス前に阿知須のきらら浜で風揚げ大会を開催し、三世代交流の促進を図っている。4年前から始まったこのイベントも口コミで年々参加者が増えており、冬の恒例行事として定着しつつある。

しかし、「クラブのメンバーだけでは、ここまでの発展はなかった。地域の人たちの協力のおかげ。人材に恵まれている」と藤井さんは振り返る。

「今後は、伝統の継承活動をする一方で、伝統に新しいものを取り入れたいとも考えている。例えば、地域の特産品である『阿知須くりまさる』や『阿知須牛』などを風化したり、最新の技術を取り入れたりして、若者をはじめ、地域の人たちも巻き込み、阿知須を中心に周辺地域を元気にしたい」と笑顔で語った藤井さんの夢は、天高くどこまでも上がり続けている。



きらら阿知須よ一ざクラブ  
(山口市老人クラブ連合会阿知須支部)

市内の幼稚園や小学校、イベント等で、風作りと風揚げ体験を行うなど、阿知須の風文化を後世に伝える活動を行っている。「よ一ざ（揚子）」とは、風のこと。阿知須地域では、昔から風のことを「よ一ざ」と呼んでいる。  
(左から藤井宏三 支部長、向山寿男 副支部長)

## 楽しみを見つける

とあるきっかけで日本画を始め、その才能を発揮している村前さんにお聞きします。



村前純子さん

初めて応募した2012年のねんりんピック宮城・仙台大会で銅賞、市美展でも最高賞など多くの賞を受賞されている。(写真は昨年受賞作品「みのり」)

### 日本画との出会い

昨年、ねんりんピック栃木大会に参加され、日本画の部で見事、銅賞を受賞された村前さん。

学生時代から油絵などを描いてきたが、会社を退職後、何か始めようと思っていたとき、ある展覧会で見た日本画の魅力に引き込まれた。材料や技法などが全く異なり、当初は未知の世界だったが、今ではその奥深さに魅了され、日本画を中心に描き続けている。

村前さんの日本画は、石を砕いた岩絵の具を膠で溶かして描かれており、油絵などの華やかさとは趣の異なる、しっとりとした深みのある落ち着いた色合いの作品が多い。

絵を描いてきて良かったことを尋ねると、「夫が病気となり、介護で体調を崩したこともあったが、ずっと日本画を描くことで落ち込んだ気持ちが救われた。絵を描くことは『生きがい』ではあるが、私にとってはむしろ現実を

### 「日本画で、明るく過ごす」

忘れ「夢中になる場」があつて良かった」と語った村前さん。現在も、ほぼ毎日病院に顔を出すなど、献身的な介護の日々は続く。

### ねんりんピックへ向けて

介護と趣味の両立は誰しも簡単なことではないが、村前さんは日本画という「楽しみを見つける」ことで両立し、さらに本年開催されるねんりんピック山口大会への参加にも意欲を見せる。

「日本画も、ねんりんピックなの？」と知人から尋ねられたことも。「ねんりんピックの文化種目はあまり知られていない。山口大会をきっかけに、スポーツだけではなくことをもっとアピールしたい」と村前さん。「ねんりんピックや展覧会など、自分たちの趣味や特技を披露する場は必要。目標があればやりがいになるし、さらに賞をもらったときには励みにもなる。ぜひ、一緒に活動するメンバーにも、山口大会への参加を呼びかけたいし、もっと多くの人にも気軽に参加してほしい」とも話された。

「ずっと大好きな絵を描き続けたい」と語る村前さん、まずは目の前の夢である山口大会への参加に向かって、新たな作品づくりの構想も限りなく膨らんでいく。



展覧会での様子。一緒に活動する皆さんの作品も多く並ぶ。

仲間と一緒にいきいきと！

### 老人クラブ

趣味・文化などのサークル活動や旅行、地域の文化や郷土史などの伝承、農作物や花の栽培、健康学習など、さまざまな活動を行う老人クラブが市内に211あります。おおむね60歳以上の方ならどなたでも入会できますので、ぜひご加入ください。

山口市老人クラブ連合会 ☎ 083-922-7121

全国において100万人会員増強運動実施中！

参加しませんか？

もっと元気にいきいきと！

### すこやか長寿ボランティア

「すこやか長寿ボランティア」とは…登録していただいた市内の65歳以上の方が、介護保険施設などでボランティア活動を行った場合、活動実績に応じてポイントが交付され、ポイントを積み立てて「交付金」または「地域の特色を生かした物品との引換券」に転換できる制度です。詳細はお問い合わせいただくか、市ウェブサイトでご確認ください。

介護保険課 ☎ 083-934-2805

ご存じですか？

# 心も体もずっと元気に

スポーツに打ち込むだけでなく、スポーツを通じて色々な楽しみを見つけ、心身ともにいきいきと活動している大場さんにお聞きます。



## 大場清美さん

趣味は硬式卓球とラージボールという大場さん(白石・白石卓球クラブ)。昨年の全国ラージボール大会混合ダブルス2位。今年のねりんピックは上位入賞を狙う。

## もう一つの卓球

「卓球」や「女性」というキーワードで思い浮かぶのは石川佳純選手ではないだろうか。市内の「白石卓球クラブ」でも練習し、今や世界からも注目される選手だ。そんな華々しい硬式卓球の影に、もう一つの卓球「ラージボール」がある。

「セツね、楽しくて仕方ないんですよ」と爽やかな笑顔で話すのは、仕事をリタイアし、白石卓球クラブで硬式卓球やラージボールを楽しむ大場さん。同クラブには老若男女約30人が所属し、毎週月曜・土曜の夜に白石中学校体育館で練習に励んでいる。

大場さんはラージボールを始めたくっけについて「正直言うと、遠征が多いって聞いて始めたんです」。健康保持・増進などを目的に

## 「遠征も楽しみの一つ」

スポーツを続ける人が多いが、大場さんの場合はそれだけではない。「ラージボールは毎週どこかで試合が行われる。その分、遠征が多いのも魅力。知らない土地を旅できるのが楽しい」と、健康保持や試合を楽しむことだけを主眼に置いていない。年齢を重ね、心や時間に余裕ができてきたからこそ生まれる「大人の楽しみ方」もある。

## ねりんピックは目標の一つ

ラージボールの大会は、一定の年齢層で試合を行う場合が多い。最近では、昔国際大会などで名をはせた選手とも試合をすることもあるという。「この競技はあまり認知されていないが、大会へ行くくとレベルが高い。けがをしないように筋トレもしている」と、遠征を楽しむ余裕の裏にある隠れた努力が垣間見られた。

昨年参加したねりんピック栃木大会ではリーグで2位となり、2位同士のトーナメントでは銅メダルに輝いた。当然、今大会は優勝を目指していると思いきや「ねりんピックだけでなく、どの試合も楽しみながら頑張る」と目標を語る大場さん。卓球はまだリタイアしていない。



白石卓球クラブの皆さん



高齢・障がい福祉課  
主査 齊藤 正登  
☎ 083-934-2793

市では、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を目的に、高齢者の生きがいづくりや健康づくりが推進されるよう、老人クラブの活動を支援しています。おおむね60歳以上の会員約8900人が市内各地域でさまざまな活動を行っており、その地域最大の高齢者ネットワークとしての特性を生かし、地域コミュニティの重要な担い手の一員としてさらに幅広い活動が行えるよう、引き続き支援していきます。また、高齢者が積極的に社会参加し地域で活動できるように、ボランティア活動等に関する情報提供を行うなど、環境を整備していきます。

今年開催されるねりんピック山口大会の開催の一つのよいきっかけとし、今後も地域や関係団体等の協力を得ながら、高齢者ができるだけ住み慣れた地域で生きがいを持ち、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、健康長寿のまちの実現に向けて取り組んでいきます。



# いざ J3の舞臺へ

## レノファ山口FC、山口県初のプロサッカークラブに

昨年11月19日、本市をホームタウンとするサッカークラブ「レノファ山口FC」がJ3に参入。県内に初めてプロサッカークラブが誕生しました。

レノファ山口FC（以降、レノファ）のこれまでの歩み、そしてこれからについてご紹介します。

問 生涯学習・スポーツ振興課  
☎083・934・2912

### ■設立9年目で夢が結実

レノファは県サッカー教員団を母体に、Jリーグ参入を目指して2006年に創設。当初から中国サッカーリーグで上位に入り、地域決勝大会に進むもJFL（ジャパンフットボールリーグ）に届きませんでした。昨年J3が創設され、地域リーグからの飛び級で

### ■レノファの歩み

1949年	県サッカー教員団として発足
1976年	天皇杯初出場
1980年	中国リーグ昇格
1982年	全国地域リーグ決勝大会初出場
1997年	中国リーグ最下位、県リーグ降格
1999年	県リーグ優勝、中国リーグ昇格
2003年	中国リーグ最下位、県リーグ降格
2004年	県リーグ優勝、中国リーグ昇格
2006年	Jリーグを目指しレノファ創設
2008年	中国リーグ初優勝
2013年	JFL入会、全国社会人大会優勝
2014年	JFL年間4位、J3参入

▼JFL最終戦の栃木ウーヴァFC戦で、岸田選手がゴールを決め喜ぶ選手ら。これが決勝点となり勝利。試合終了の笛と共に、年間4位が確定した。



の入会を狙いましたが、JFLへの昇格にとどまりました。昨シーズンのJFLでは第1ステージ2戦目からの6連勝などにより、年間総合4位に食い込みました。また、ホームゲームでの平均観客動員数も2300人となり、J3への入会要件を全てクリア。そして、昨年11月19日に開催されたJリーグ理事会において、J3への入会が正式に承認され、レノファ創設以来9年目で夢が結実しました。



▲JリーグからJ3入会決定の電話連絡を受ける、河村社長（左）。Jリーグチェアマンから「一緒にがんばっていきましょう」と声をかけられた。

### ■J3参入、そしてJ2へ

今シーズンは、J2への昇格を目指して挑戦していくこととなります。J2への昇格には、ホームゲームの平均観客動員数3000人以上、年間総合順位2位以内（1位は自動昇格、2位はJ2の21位（J2は全22チーム）との入れ替え戦で勝つこと）などが条件となってくることから、今まで以上に多くのサポーターの応援が欠かせません。

13チームで争うJ3では、試合数も36試合（3回戦総当たり）となり、目の前でレノファの活躍を楽しめる機会も増えます（ホームゲーム19、20試合予定）。なかには元日本代表選手が所属しているチームもあり、その対戦を山口で観戦できるのも魅力の一つとなります。

### ■2015シーズンのJ3チーム

チーム名	所在地
カターレ富山	富山県
AC長野パルセイロ	長野県
FC町田ゼルビア	東京都
ガイナーレ鳥取	鳥取県
グルージャ盛岡	岩手県
SC相模原	神奈川県
FC琉球	沖縄県
福島ユナイテッドFC	福島県
藤枝MYFC	静岡県
Jリーグ・アンダー22選抜	-
ブラウブリッツ秋田	秋田県
Y.S.C.C横浜	神奈川県
レノファ山口FC	山口県

3月から、Jリーグに入会しての新しいシーズンがスタートします。スケジュールは、今後市報でもお知らせしていきます。皆さんもレノファを応援し、山口県初のプロサッカークラブを、地域みんなが育てていきましょう。

# 輝く人

このコーナーでは、「ふるさとやまぐち」にかかわる魅力的な方を紹介していきます。今回は、5人の方をご紹介します。  
☎ 広報広聴課  
0833・9334・2753

よねもと・たろう

7歳の時に初舞台。山口鷺流狂言保存会として、舞台や広報活動で継承に尽力。父・米本文明は県指定無形文化財の技術保持者。

## vol.15 米本太郎

娯楽の多様化や少子高齢化などにより、何百年も伝わる文化伝承が危ぶまれています。特に無形文化財は、その土地に住む人々の伝承に頼る所が大きな課題となっています。江戸期に始まったとされる「鷺流狂言」は、人々が相互に稽古をつけるかたちで受け継がれています。

今回は、山口鷺流狂言保存会として伝承活動をされている米本太郎さんにインタビューしました。

### ■文化伝承を模索

米本さんは3歳の頃から保存会の伝習会に参加し、能や狂言に興味を持ち始め、プロの能楽師になるために東京の大学に進学。しかし、山口の狂



▲米本さん初舞台「しびり」。当時7歳。



言が衰退していく事を危惧し、大学卒業後、山口に帰郷した。

米本さんは、狂言を趣味の範囲にとどめず、常に「伝承するにはどうしたら良いか」という視点で活動。表に出ることを好まない性格だったが、文化継承のために、出身校の小鯖小学校を始め、市内の小学校で公演を始めた。

「狂言はセリフが難しいが、娯楽性が高く、子どもが見ても楽しめる。狂言について興味を持ってもらい、他の伝統文化についても考えられるきっかけになれば」と振り返る。

### ■「プロ」あついで「その」山口鷺流

来年は百年ぶりとなる山口鷺流の海外公演を控えているが、米本さんは、



▲百年前、アメリカで行われた山口鷺流狂言。西村直太郎(右)さんらが参加した。

鷺流の本当の良さは山口でこそ体現できると考える。

「野田神社の舞台は、音が反響するように地下に壘を置くなどの工夫が施されている。狂言は、能舞台や景色と調和してこそ本当の面白さがある」

山口には大内氏・毛利氏の時代から人々に伝わる文化的土壌がある。米本さんのような方がいる限り、山口鷺流狂言は、これからも人々に愛され楽しめる存在であり続けるだろう。

### 【山口鷺流狂言保存会の今後の予定】

- ・1月25日(日) 県立大学で公演
- ・2月19日(木) アメリカケンタッキー州センター大学で公演



▲米本さんへのインタビューの様子は、C-able テレビ「発見! やまぐち このまちに愛たい」の中で放送します。放送日は1月1(木)～15日(木)。



▲昨年10月12日に野田神社で行われた鷺流狂言



れいこ  
スタジオ・レイ代表。リル・レイ：  
ダンススタジオ主宰。青山学院  
大学卒業後、プロのダンサー、  
舞台俳優として活躍。現在は、  
ダンスの指導や、地域発信型  
ミュージカルの演出・振付家と  
して県内外で活躍中。

平成24年度から中学校の授業でダン  
スが必修科目となりました。ダンスは、  
表現力や想像力を養い、協力して二つ  
のパフォーマンスをやることでの連帯  
感や協調性が生まれます。「ダンスは  
テクニクよりハート」と語る市内の  
スタジオ・レイ代表、演出・振付家の  
REI・KOさんにインタビューしま  
した。

## ダンスの楽しさは人と人をつなぐもの

REI・KOさんは、3歳で加藤耀  
子氏に師事、モダンダンスを学び、大  
学ではダンスサークルを創設。東京キッ  
ドブラザーズの振付を担当する他、多  
くのTV・舞台に出演。山口に帰郷後も、  
文化活動を続けようとしたが、創作の  
場である稽古場が少ない事に気付き、  
一念発起した。「無いなら私が作ればい  
い。迷いはありませんでしたね」とい  
う前向きな言葉からも、山口のダンス  
カルチャーをリードしていく強い決意  
のよつなものが伝わってくる。

今年10月に山口で開催されるねんり  
んピックでは、開会式の演出補・振付  
を担当すると共に、自身が作詞・振付  
をした「ねんりん山口元気体操」を市  
内の子どもたちにも指導する。  
「学校教育の中でダンスがより身近  
なものになってほしい。若い世代が山  
口を拠点に、地域観光振興のためのパ  
フォーマンスなどで、  
全国に羽ば  
たいてくれ  
れば…」  
これまで  
の努力が実  
を結び始め  
ている。



▲子どもたちと「ねんりん山口元気体操」を踊っている様子。

の観光パ  
フォーマンスのプロ  
デュースも  
手がける。  
「ダンス  
の楽しさ  
は、言葉や  
国境を越  
えて、万人  
が分かち  
合えるもの。その素晴らしさを皆さん  
にお伝えし、ダンスですこやかな心と  
からだを育む山口での環境作りをして  
いきたい」と抱負を語る。



▲昨年12月に行われた記念公演の様子。

## vol.17 世界を近づける 上田 エカテリーナ



うえだ・えかてりーな  
ロシアカルーガ市出身。ロシア国  
立教育大学を卒業後2002年に  
来日。カテリーナ英会話教室・山  
口日露交流クラブ代表。

インターネットが普及し、世界の出来  
事が手に取るようにわかります。しかし  
本当に理解するということはどういうこ  
となのか。  
山口で英会話教室を開く傍ら、NPO  
山口日露交流クラブを設立し、日露の交  
流を深めている上田さんにインタビュー  
しました。

## その国の文化を知れば分かります

上田さんは生粋のロシア人。しかし子  
どもの頃、周囲からアジア系と思われる  
ことが多かったという。ロシアの大学を  
経てフランスの大学に留学し、フランス語や  
ドイツ語など学んだ。そして、卒業論文  
では日本の作家・安部公房について書いた。  
その理由に「日本に親近感があったから」  
と振り返る。次第に日本への興味が深ま

▼昨年2月に行われ  
たミニジャンボリーで、  
ロシアの文化を紹介  
している様子。



り、山口県立大学大学院国際文化研究科  
に入学した。「私の家族は、日本には口ポッ  
トが宿題をしてくれるからいいねとか、侍  
がいると思っただけで心配していたが、実際に  
みると全然違った」と、当時の印象を話す。  
県立大学卒業後も日本にとどまり、ロ  
シア語の講師を務めたが、日本人がロシア  
の事をあまり知らないことに気付き、互  
いの国の事を理解し合おうと、「山口日露  
交流クラブ」を設立。クラブでは、ロシア  
だけでなく、さまざまな国の方を講師に  
招き、料理教室などを通して互いの交流  
を深めている。「活動で得た収益は、ロシ  
アの恵まれない子どもたちのために支援  
している」。母国への愛も忘れない。

2010年に、着物コンテストの中国  
大会で1位となり、2013年には全国  
大会で3位になった。今でもお子さんの  
入学式などには着物で参加している。「着  
物を着ると、日本の生活などが理解でき  
る。その国の文化を知れば、他と違つこ  
とも分かります」。上田  
さんが  
山口と  
世界の  
架け橋  
になる。



▲2013年の着物コンテスト全国大会の様子。



# 何事にも全力で望む

森脇 ゆい

▲「カワイイニッポンエキスポ2014」でのライブの様子。山口活性学園は、県内の選挙啓発メインキャラクターや、世界スカウトジャンプのオフィシャルサポーターも務めている。

中学生の時に女優になろうと決意し、福岡の事務所に入ったのがきっかけですね。  
春乃さんは女優を目指してたのどうしてアイドルに？  
春乃 事務所に入ってから、アイドルグループ「青SHUN学園」を結成するから入らないかと誘いがあったので加入しました。女優になるために何事も挑戦してみようと思っただけです。  
—もう人見知りの面影はないですね。ところで森脇さんの所属する「山口活性学園」は変わった名前ですよね。  
森脇 民間企業やクリエイターが、山口を活性化させる目的で結成したグループなので。分かりやすい名前でしょう(笑)。  
—へえ、じゃあ山口ですって活動しているんですか？  
森脇 ファンの皆さんのおかげで、今は県外でもライブをさせていただいています。  
—今や地方にいても全国で活

—お二人がアイドルになろうと思ったきっかけは何ですか？  
森脇 小学校の頃、アイドルグループ「モーニング娘。」のダンスをまねして遊んでいたんですが、もっと大勢の前で歌ったり踊ったりしたいと思うようになり、アイドル発掘オーディションを受けたのがきっかけです。  
春乃 私の場合は、幼い頃人見知りか激しいのを母さんが心配して、近くのダンススタジオに連れて行ってくれたんです。舞台上立つうちに演技に魅了され、



山口で芸能の道を志す女性があります。二人に共通するのは“アイドル”。山口を中心に活躍する森脇ゆいさんと、春乃美月さんにインタビューしました。



森脇 ゆいさん

## vol.18 ご当地から全国区へ

# 森脇 ゆい

もりわき・ゆい  
アイドルに憧れ、高校1年の時に山口活性学園に加入。趣味はエレクトーン。高校卒業後もアイドルとして、ライブやテレビCMなどに出演している。

はるの・みづき

女優を志す市内の高校3年生。中学2年の時に福岡発のアイドルグループ青SHUN学園に加入。昨年の春卒業し、本格的に女優の道を歩んでいる。

## vol.19

# 春乃 美月

アイドルを経て女優に



—見えない努力が評価されたんですね。お二人の今後の夢は何ですか？  
森脇 私の夢はきゅりーぱみゅぱみゅさんと同じステージに立つことだったん

躍できる時代なんですね。春乃さんは昨年アイドルを卒業され、今や女優業にまいる進中ですな。  
春乃 はい。昨年の夏、さぬき映画祭の映像企画受賞作品で「アヒーショ！」という映画のオーディションを受け、準主演に選んでいただきました。  
—役を獲得するために普段から何か努力していましたか？  
春乃 演技に幅がもてるように、ダンスや、エレキギター、作詞などに挑戦して自分磨きをしました。アイドルとして過ごした3年間も大きかったと思います。  
—見えない努力が評価されたんですね。お二人の今後の夢は何ですか？

# 山口の女優 II 春乃 美月



春乃 美月さん

—どんなステージだったんですか？  
森脇 幕張メッセで行われた「カワイイニッポンエキスポ2014」というイベントで、ご当地アイドルや有名アイドルが一同に揃ってライブでした。  
—全国に山口を知らしめることができましたね。  
森脇 はい。今後も山口を活性化させるために、何事にも全力でいきます！  
—ぜひ山口のためにお願います。春乃さんの夢は何ですか？  
春乃 私の夢は、ヒーロー役や悪役、どんな役でもこなす千の「仮面」を持つ女優になる事です。山口の女優と言えは「春乃美月」と言われるようになりたいです。  
健康的で明るい笑顔を振りまく二人の10代が、山口を活性化させる。



▲春乃美月さん出演の映画「アヒーショ！」(さぬき映画祭映像企画受賞作品)のワンシーン。2月の「さぬき映画祭2015」で公開される。



# 市政トピックス

## 人権擁護委員の灰田さんが「法務大臣表彰」を受賞

11月18日、人権擁護委員の灰田信子さんが、法務大臣表彰の受賞を市長に報告されました。



市長に受賞を報告する灰田さん

賞は、本市の人権水準が高いということ。人権問題にご尽力頂き感謝すると述べる。灰田さんは「この度の受賞は励みになった。人権擁護委員は認知度が低い。今後委員の活動を周知し支援したい」と述べられました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間のボランティアで、市内28人の委員が人権尊重の意識啓発のために活動しています。人権に関する相談は、近くの人権擁護委員または特設相談所まで気軽に相談ください。

### 人権推進課

☎083・934・2784

## 「市消防団協力事業所表示証」を初交付

11月13日、山口総合支所で「山口市消防団協力事業所表示証交付式」を行い、山口中央農業協同組合とパナソニック株式会社A・I・S社キャパシタ事業部に表示証を交付しました。

これは、消防団活動等を通じて地域防災に貢献している事業所を社会的に評価し、活動に対する理解と協力体制の促進を図り、消防防災体制の充実強化を図るもので、市では初めての交付となります。

市長は「近年、災害が多発し、地域の実情に精通した消防団への期待が高

## を初交付

まっております。今後とも消防活動の大きな支えとして協力をお願いしたい」とあいさつし、表示証を手渡しました。

事業所を代表して、山口中央農業協同組合の山下信雄代表理事は「地域防災への貢献が認められ、市内初となる表示証をいただき誇りに思う。今後地域の方々が安心・安全に暮らせるよう努力したい」と述べられました。市では、今後も地域の消防防災力の充実強化等を推進してまいります。

### 消防本部警防課

☎083・932・2602

市内の魅力を紹介します。



山口市

## ぶらり維新の策源地 “十朋亭”

1863年、萩から長州藩庁が移鎮してきた山口には、多くの志士たちが集まって密議を交わした場所や歴史の転換点となった史跡などが数多く残っています。

中でも、萬代家の離れ屋敷「十朋亭」は、当主・萬代利兵衛が志士達の活動を援護していたことから、桂小五郎や高杉晋作、久坂玄瑞など多くの人物が集まったと伝えられています。また、周辺の古民家を改装した飲食店などでは、十朋亭に伝わる久坂玄瑞の湯呑みのレプリカでお茶などを楽しめる企画も始まります。(詳細は、大路口ビーのウェブサイトをご覧ください。)

維新策源地、山口で歴史に思いをはせてみませんか。



十朋亭



十朋亭に伝わる 久坂玄瑞常用湯呑み

- 場所 下堅小路112-1
- 開館時間 10時～17時
- 休館日 火曜(祝日の場合は翌日)
- 問い合わせ 大路口ビー ☎083-920-9220

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。



宇部市

## くすのきカントリーマラソン 参加者募集

会場に隣接の温泉施設と地元特産品バザーなどで、心と体が癒される大会です。ぜひご参加ください。

- 日時 3月15日(日) 7時30分～9時10分受付
- 場所 万倉ふれあいセンター(スタート、フィニッシュ)
- 部門 フルマラソン、クォーターマラソン(10.548km)、5km、2km  
※参加資格、参加料は、部門により異なります。
- 定員 先着2,500人
- 申込期限 1月30日(金)
- 問い合わせ 実行委員会事務局 ☎0836-32-9600

防府市

## 第14回防府音楽祭 ほうふニューイヤーコンサート2015

アーティスト達が防府の街のあちこちで奏でます。

【オープニング街角コンサート】(入場無料)

- 日時 1月9日(金) 10時
- 場所 防府まちの駅“うめてらす”ほか、防府市内各所

【プロムナードコンサート】(入場無料)

- 日時 1月10日(土) 11時
- 場所 アスピラート1階 市民スペース

※1月11日(日)『わくわく夢の響演コンサート』、1月12日(月・祝)『ファイナルコンサート』がアスピラート3階 音楽ホールで行われます。出演者、チケット等、詳細はお問い合わせください。

- 問い合わせ アスピラート ☎0835-26-5151

# お知らせ

- 山口総合支所 0833-922-4111
- 小郡総合支所 0833-973-2411
- 秋穂総合支所 0833-984-2121
- 阿知須総合支所 0836-65-4111
- 徳地総合支所 0835-52-1112
- 阿東総合支所 0833-956-0111

## 山口市菜香亭 市民ギャラリー

「てぬぐい展」しかけのあるてぬぐいと  
山口のてぬぐいvol.4

県立大学文化創造学  
科の学生による作品を  
約40点展示します。(無  
料)



**日時** 1月23日(金)～  
25日(日)9時～17時  
(初日のみ13時から、最終日のみ16  
時まで)

**所問** 山口市菜香亭(天花一丁目2  
・7) ☎0833-934-3312

## 岡本保の スケッチ墨絵展

長年にわたり、阿知須地域の社寺や  
風景を描いてきた岡本保氏のスケッチ  
墨絵の展示会です。阿知須郷土史研究  
会制作の社寺説明パネルも展示しま  
す。(無料)

**期日** 1月10日(土)～18日(日)

**時間** 10時～16時

## 名田島出身の彫刻家 「田中馨雲先生作品展」

**日時** 1月24日  
(土)9時30分～16  
時、25日(日)9時  
30分～15時

※24日9時30分から  
のテープカットの  
後、山口情報芸術  
センターの足立明男館長による作品  
解説があります。(無料)



蔵王権現

**場所** 山口南総合センター多目的ホール  
**問** 名田島自治会連合会事務局  
☎0833-973-7551

## 放課後児童ふれあい クラブ入級児童の募集

**期間** 4月～平成28年3月

**場所** 三和児童館内児童クラブすぎ

のご学級(三和町3・3)

**対象・定員** 保護者の就労などによ  
り、放課後、留守家庭児童となる障  
がいのある市内の小学生(若十名)

※申し込み多数の場合、保護者の就労  
状況、児童の学年、障がいの程度な  
どを考慮して、入級を決定します。

**申問** 1月30日(金)までに、ごども  
家庭課  
☎0833-934-2797

## やまぐち人財力UP セミナー参加者募集

女性を対象にキャリアマネジメント  
や仕事と生活の調和について考えるセ  
ミナーを開催します。(無料)

**日時** ①2月9日(月)14時～16時

②2月10日(火)10時～16時

**場所** 山口県セミナーパーク(秋穂  
二島1062)

**内容** ①「女性が自分らしく輝いて  
生きるヒント」をテーマに講演

②「女性ステップアップセミナー」強  
みを生かしてさらに職場で輝く!」  
をテーマに講義等

**講師** ①永田潤子氏(大阪市立大学)

## 国際活動フェスティバル 2015

山口県国際交流協会  
創立25周年を記念する  
イベントです。県内の  
国際活動団体が勢揃い  
して、世界の食や文化  
が楽しめます。(無料)

**日時** 1月25日(日)10時～16時

**場所** 県総合保健会館(吉敷下東三  
丁目1-1)



**申問** 県国際交流協会

☎0833-925-7353

大学院准教授)②大川郁子氏(株  
行政マネジメント研究所専任講師)  
**定員** ①先着150人②先着80人  
**申問** 1月26日(月・必着)までに、  
ハガキ、FAX、Eメールのいず  
れかで、参加希望日、〒住所、氏  
名、電話番号を、山口県ひとづ  
くり財団自治研修部(〒754・  
0893秋穂二島1062)  
☎0833-987-1120  
FAX 0833-987-1140  
✉jichi@hito21.jp

# イベントカレンダー



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)
	<b>YCAM コラボレーション企画 「中原中也 歩みのリズムー〈僕は街なぞ歩いてみました〉」 (~25日) (湯田)</b> 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)	<b>11 (日)</b>	<b>消防出初式</b> (名田島) 消防本部警防課 (☎ 083-932-2202)
	<b>ムン・キョンウォン+ YCAM 「プロミス・パーク・プロジェクト [リサーチ・ショーケース]」(~11日) (白石)</b> 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)		<b>成人式</b> (白石) 社会教育課 (☎ 083-934-2865) ※式典は市民会館で 14 時から
		<b>17 (土)</b>	<b>ニューイヤーバンドフェスティバル 2015</b> (白石) 市民会館 (☎ 083-923-1000)
	<b>元日登山・雨乞山</b> (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)		<b>南部地区人権学習推進大会</b> (名田島) 佐山地域交流センター (☎ 083-989-3525)
<b>1 (木・祝)</b>	<b>新春体力づくり鶏の峰登山</b> (白石) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)	<b>18 (日)</b>	<b>市駅伝競走大会</b> (阿知須) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)
	<b>初日にちかう会・文殊岳</b> (徳地) ゆたかな串を育てる会 (☎ 0835-54-0776)	<b>25 (日)</b>	<b>あとう雪まつり</b> (阿東) 阿東地域交流センター (☎ 083-956-0116)
			<b>やまぐち新進アーティスト大賞最終選考ノミネート作品展 (~2月8日)</b> (大殿) 文化政策課 (☎ 083-934-2717)
		<b>2/1 (日)</b>	<b>あじすふれあいフェスティバル</b> (阿知須) 阿知須地域交流センター (☎ 0836-65-2022)

## 第28回全国健康福祉祭やまぐち大会 ねんりんピック おいでませ!山口2015

本年10月、「ねんりんピックおいでませ!山口2015」が開催されます。開催機運を盛り上げるため、今号から表紙に大会ロゴを掲載します。

ねんりんピック(全国健康福祉祭)は、60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化、健康と福祉の祭典です。山口県PR本部長のちよるも大会マスコットとしてシンボルマークが描かれた黄色い服を着て応援します。



ちよるる

問い合わせ  
観光課 ☎0833・934・2810

表紙写真から「明治維新の策源地 山口市」を全国に発信。維新キャラバン隊が、萩往還を威風堂々と歩いている様子です。

維新キャラバン隊は、3年後の明治維新150年に向けて、幕末、長州藩の中心となり、維新の根拠地となった「明治維新の策源地 山口市」をPRするために結成されたものです。写真中央が高杉晋作、両脇を固める2人は奇兵隊士を模しています。

木戸孝允や坂本龍馬など多くの志士が滞在、討議したとされる湯田温泉にちなんだ温泉娘とともに、各地のイベントで歌とダンスを交えた歴史パフォーマンスを披露しています。

市では、今月からはじまる大河ドラマ「花燃ゆ」の放送を一つの契機とし、これから全国各地でのPR活動や関連イベントの開催、市内でのおもてなし環境の整備を通じて、明治維新150年に向けた市民の機運の醸成とともに、交流人口の拡大を図っていきます。



この広報紙は再生紙を使用しています。使い終わったら、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。